

2015.3.22 聖別会

# IMMANUEL

インマヌエル  
中目黒キリスト教会  
聖別会マンスリー



2015年

< 聖化の豊かさを味わう > 「聖化の説教」  
「契約の箱は何を語るか？ 蓋か、中身か、本体か」  
(出エジプト 25:10-22)  
日基ホーリネスの群吉川教会・深谷春男牧師

「わたしはそこであなたと会話し、その『贖いのふた』の上から、すなわちあかしの箱の上の二つのケルビムの間から、イスラエル人について、あなたに命じることをことごとくあなたに語ろう。」  
(出エジプト 25:22)

## 1. 契約の箱

- ・ 出エジプト後、礼拝の場所として、幕屋が建てられた。その中心が契約の箱である
- ・ 箱に納められたのが十戒(契約の板)である
- ・ それは神の教え・み言葉への従順を示唆する。礼拝とは神の言葉に聴くことである。

## 2. 贖いの蓋

- ・ 英語では mercy seat (憐れみの座、恵みの座)
- ・ ヘブル語はカッポーレト(蓋)
- ・ このギリシャ語訳はヒラステーリオン(なだめの供え物 = ローマ 3:25)

- ・大祭司は、年一度この「蓋」の上に、牛の血を振りかけ、民の罪の贖いをする(レビ 16:15)
- ・贖いの蓋は、旧約・新約を通して、私たちの信仰の中心が贖罪信仰であることを示す

### 3. ケルビム

- ・ケルビム(主の臨在の象徴)から、主は語られる
- ・こここそ神と人が和解する場所、罪が赦され、人が神の前に立つことができる場所である
- ・「神ご自身の臨在に触れること！この世界を創造し、人間の歴史を導き、救い給うた神ご自身の顕現に触れること！これほど大きな出来事はありません。・・・私たちの生涯は、栄光の主をの御顔を仰げば、すべての問題は取るに足りないものとなるのです。」
- ・出 33:14「私自身がいっしょに(私の顔が共に)行って、あなたを休ませよう。」これこそがイスラエルの命、慰めであった。

おわりに：

キリスト教信仰は、聖書信仰、贖罪信仰、臨在信仰の展開の中にある